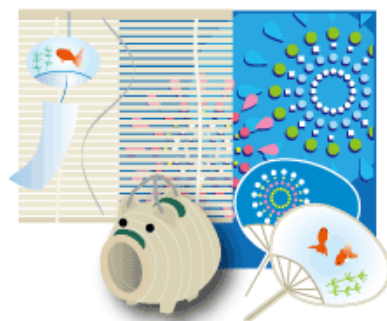


暑中お見舞い申し上げます。

連日猛暑が続いておりますが、
皆様、いかがお過ごしでしょうか。
子どもたちは夏休みを謳歌していることでしょう。
ご家族皆様、どうぞ体調を崩されませんよう、
ご自愛ください。



ところで、この暑中見舞いというのは、もとは『盆礼』といってお盆に親や親戚、お世話になった方を訪ねて、心のこもった贈り物をする風習にはじまったとされているそうです。

暑中見舞いを書くのは通常、一年で最も暑さが厳しいとされる時期ですから、ちょうど今が暑中お見舞いどきです。郵便局のホームページによると、二十四節気の「小暑（7月7日頃）」～「立秋の前日（8月7日頃）」にかけて送るのが通例とのこと。実際の暑さより暦が基準なので、8月7日を過ぎると『秋（暑中ではなくなる）』のです…が、体感としては、なかなか受け入れられませんね。とにかく、外で元気に遊ぼうにも、子どもたちには、熱中症という危険もひそんでいます。くれぐれも「自分の命は自分で守る」鳥っ子たちに、体の調子に注意しつつ、元気に過ごすよう、お見舞いを伝えてください。



また、全国的に子どもたちが夏休みに入った最近のニュースでは、水の事故の多発が伝えられています。本当に痛ましいことです。海や川、プールでの事故も怖いのです。子どもを助けようとして大人が亡くなってしまうケースも後をたちません。

楽しかった夏休みを悲しいものにしないこと。そのためにも、再度、大人が目を見離さないことに加え、海岸や水辺での活動のしかた・楽しむために必要な備えについて親子で確認をお願いします。

国・県からも啓発資料が届きましたので、次ページにご紹介します。

7月25日までの 教育相談ではお世話になりました。

暑い中、学校までおいでいただき、感謝申し上げます。有り難うございました。2学期からの子どもたちのさらなる成長、深い学びのために、これからも情報を共有していきたいと考えております。この期間中にご都合が合わなかった保護者の方も、いらっしゃることと思いますが、2学期以降も随時、教育相談は受け付けておりますので、お声がけください（スクールカウンセラーの面談をご希望の場合は担任までお申し出ください）。